

輝け！シン尾花沢中

第 1 1 0 号

令和 7 年

10 月 21 日

伸びよとさそう 常若の ああ尾花沢中学校

現在の自分を未来へつなぐ！～市中学校「いのちの教育」講演会～

10 月 16 日（木）、本校と福原中の 2・3 年生を対象として、後藤敬子先生（ごっと助産院長）を講師に迎えての「いのちの教育」講演会が行われました。ねらいは次の 2 つです。

- ① 自分の存在や、自他のいのちの大切さについて理解を深め、人としてよりよい生き方を追求しようとする態度を育てる。
- ② 性に対する理解を深め、適切な意志決定や行動選択ができる能力を身に付ける。

私が特に印象に残ったことは次の 3 点です。

○人間は 2 回生まれる

1 回目の誕生➡へその緒がとれて、1 人でも生きることのできる体になったとき

2 回目の誕生➡18 歳までに、社会に出ても生きていける心と体になったとき



- 例えば…
- ・ご飯を食べ、栄養をとる
 - ・期限まで責任をもって仕事をやり遂げる
 - ・自分に必要なことを身に付けるために努力する
 - ・洗濯物をきちんと洗ってたたんで片づける
 - ・我慢する
- など

○現在の自分を未来の自分につなげるために、健全な心身をつくるよう努める

○幸せになりたいならば、他人の気持ちを思い、行動に移す

最後に、五十嵐江さん（3 年）がお礼の言葉を述べ、古郡妃菜さん（3 年）が花束を贈呈して、会は終了しました。以下、江さんのお礼の言葉を紹介します。

私も受験勉強が嫌になったり、自分が情けなくて嫌になってしまったりすることがありますが、将来就きたい仕事や志望校に行くために、勉強を頑張ります。

今日の話から、周りの友達や家族の考え方や生き方を尊重することの大切さを学びました。また、命を授かるのは奇跡のようなものであり、つながりも奇跡だから今後も自分を大切にしていきたい、子供を育てるのも簡単なことではないので、自分の行動に責任を持ちたい、と思いました。さらに、おなかの中の赤ちゃんもいろいろな努力をして生まれてきていることや、小さくとも思いやりの心があること、目に見えないほどの小さな命がこんなにも大きく成長することに驚くとともに「素敵だな」と思えました。

学んだことを頭に入れて生活し、健康な生活を心がけ、人に優しく思いやりをもって接していきたいです。



妊婦体験でお母さんの大変さを実感した本校 3 年担任の佐藤芳則先生が、自分の子供ができたなら「健康で元気いっぱいに育ててほしい」と率直な思いを述べていました。

会場全体が温かい雰囲気に入れ、思いやりの気持ちを持つことができた講演会となりました。

【文責：校長 工藤雅史】